

神のつかいは

ときに人をおそろう

特別展

熊くまと狼おおかみ

— 人と獣の交渉誌 —

平成29年9月16日[土]～11月19日[日]

- 開館時間 午前9時30分～午後5時（発券は午後4時30分まで）
- 休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
- 観覧料

一般 800円(700円) シルバー 700円(600円) 小中高校生 300円(200円)
 ※常設展もご覧いただけます。※()内は20名様以上の団体料金 ※シルバーは65歳以上の方
 ※入場口で身分証明書（免許証・保険証等）をご提示いただく場合がございます。ご了承ください。

主催：東北歴史博物館

共催：河北新報社 / 仙台放送局

後援：多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 / 多賀城・七ヶ浜商会 / TBC東北放送 / 仙台放送
 三洋テレビ / KOB東北放送 / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局
 産経新聞東北総局 / エフエム仙台 / 宮城ケーブルテレビ

協力：セルコホーム スーパラダイス八木山 / 仙台うみの杜水族館 特別協力：女子美術大学

助成：芸術文化振興基金助成事業



東北歴史博物館
 TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1

Email: thm-service@pref.miyagi.lg.jp

TEL.022-368-0106

JR東北本線国府多賀城駅となり / 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分

東北歴博

検索

特別展

熊と狼

おおかみ

人と獣の交渉誌



熊を解体する猟師を描いた版画(村上市・旧山熊田中学校蔵)

人を襲う獣としておそれられた熊と狼。近年、里に出没する熊が増え、人身被害も起きています。もともと熊は山の奥にすみ、山の神から授かるものとして猟師(マタギ)が獲ってきました。熊の毛皮や胆嚢(熊の胆)は高値で取り引きされ、江戸時代には捕獲や流通を管理する藩もありました。他方の狼は人里近くにすみ、田畑を荒らす鹿や猪を獲る益獣としてあがめられる一方で、人や馬に危害を加える害獣として駆除され、明治時代に絶滅しました。熊や狼のさまざまな資料を通して、人と獣との関わりを考えてみます。

関連行事

●記念講演会 (事前申し込み不要、参加無料)

第一回

10月15日(日)13時30分~15時00分 3階講堂
 講師: 田口洋美氏(東北芸術工科大学歴史遺産学科教授)
 「旅マタギを検証する
 -技術と歴史史料でたどる出稼ぎ狩猟の実態-」

第二回

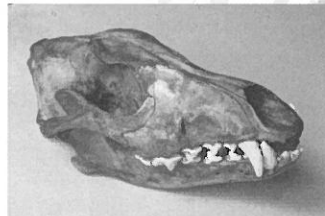
10月28日(土)13時30分~15時00分 3階講堂
 講師: 米田一彦氏(日本ツキノワグマ研究所理事長)
 「人を襲う熊 -十和利山熊襲撃事件の全貌-」

●展示解説会

毎週日曜日 11時00分~12時00分
 場所: 特別展示室 (特別展観覧チケットが必要です。)
 担当: 当館職員

●関連イベント

11月3日(金)「熊爪ペンダントを作ろう!」
 時間: 第1回10時30分~11時30分
 第2回13時30分~14時30分
 参加費 **500円無料**
 定員: 各回20人
 (事前予約必要、受付先着順 ※10月3日(火)9時00分より受付開始)



病魔を除く狼の頭骨 (弘前市・個人蔵)



安産祈願に使われた熊の手 (二戸歴史民俗資料館蔵)



獣の牙を使った祈とうの数珠 (中山町立歴史民俗資料館蔵)



熊狩りに行くマタギの人形 (秋田県立博物館蔵)

東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
 TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)
 Email: thm-service@pref.miyagi.lg.jp

お問い合わせ専用番号

TEL.022-368-0106

東北歴博

検索



JR線をご利用の方

- 山台駅から14分、JR東北本線「国府多賀城駅」となり
- JR仙石線「多賀城駅」下車 徒歩25分またはタクシー約10分

お車をご利用の方

- 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分
- 国道4号線苦竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
- 山台港フェリーターミナルから15分
- 無料駐車場(191台・大型バス10台)

この印刷物は再生紙を使用しています。

